

# 12月定例会 質疑

## 復興への具体策と 将来につなげる町づくりを要望

12月定例会の質疑では、今後の復興への考え方や、来年の作付けに対する具体策など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。そのなかの一部をご紹介します。

### ブランド・イメージ回復事業基金の内容は

渡邊正俊議員

ブランド・イメージ回復事業基金は、どのような内容で運用されるのですか。

中津企画グループリーダー

事業の目的は、震災・原子力災害からの早期復興復旧を果たすため様々な事業に充当していきます。初回の事業計画は、1点目は広野復興プロジェクト。2点目は、夏に開催するサマーフェスティバルなどの事業。3点目は住民との情報共有のための広報の充実。この3点を事業計画に立てています。



ウィンターフェスティバルの会場では数多くの物産品を販売

### どうして国政選挙に町の財源が使われるのか

北郷幹夫議員

今度の衆議院選挙費関係で、どうして国政選挙に町の一般財源が使われるのですか。

青木総務課長

国政選挙の委託金は「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」に基づき交付されます。見込まれる数値を計算し、不足する財源を計上しました。

### 報償金はいつから支払われるのか

北郷幹夫議員

鳥獣保護事業費の報償金は、いつから支払われるのですか。

松本産業グループリーダー

予算成立後の執行が基本ですが、狩猟解禁が11月なので、さかのぼって支払いたいと考えています。

### 派遣職員への対応は

門馬まりえ議員

国や自治体間の協定で派遣職員へ電化製品を準備して受け入れるという形になっているのですか。

青木総務課長

電化製品を用意しなくてはならないという決まりはありません。ただ、他の自治体でも電化製品付きのアパートに入っていたり、という観点から、それと同等の電化製品は準備していただきたいと要請がでています。

### 現在の災害復旧率はどのくらいか

渡辺久長議員

来年の稲作作付けに向かつて、現在の災害復旧率はどのくらいですか。

坂本建設グループリーダー

農業施設災害復旧工事の19カ所は、約5割の進捗になっています。来年の作付けに支障がないよう取り組んでいます。

### 来年の作付け予定面積は

渡辺久長議員

来年の、町の水田作付け予定面積はどのくらいですか。

松本産業グループリーダー

県に報告した来年の作付け可能な面積は、津波被災地の面積を除いた287ヘクタールです。このうち、24年度実績の配分率63・5%で計算すると、25年作付け予定面積は183ヘクタールです。種もみも183ヘクタール分の確保をJAふたばに依頼しています。

### 畦畔や農道などの火入れの方向性は

渡邊正俊議員

来年の畦畔・農道などの火入れはどのような方向性ですか。

山田町長

除染や灰の飛散などがあるので、検討しながらできるだけ早めに対応を出したいと思っています。



畦畔などの火入れの影響はいかに

### 農業用水池の放射性物質の調査結果は

塩 史子議員

広野町には、ニッ沼公園や西の沢ため池などの農業用水池がかなりありますが、セシウムなどの調査結果はどうなっていますか。

松本除染対策グループリーダー

ため池などの農業水利施設は、農林水産省で調査し、結果が新聞などで報道されている状況です。結果は町内ばらつきがありますが、どのため池も水そのものは検出限界値以下となっています。



憩いの場でもある西の沢ため池

### 来年の水稲の作付け品種は

渡邊正俊議員

来年の作付けに向かい、種もみの品種はどの様に計画していますか。

松本産業グループリーダー

主なものは、コシヒカリ。その他は、ひとめぼれ、もち米は、こがねもちを確保していただくようJAに指示しています。



安全を求めて米の全袋検査



実証田のようす